

## News Release

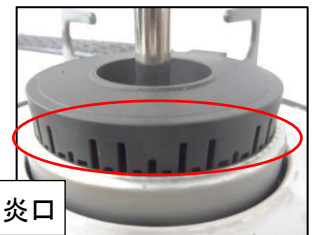
ガスコンロや電子レンジの汚れを放置すると火災の原因になります  
～調理器具はこまめに掃除し、周りに燃えやすいものがないか確認しましょう～

コンロ<sup>※1</sup>（ガスコンロ、電気コンロ、IH コンロ）や、電子レンジ、電気オーブントースターの汚れをそのままにいませんか。ガスコンロの煮こぼれやグリル皿、グリル庫内の油脂汚れをそのままに使用したり、電子レンジの庫内に食品かすが付着したまま使ったり、コンロの近くに布巾（ふきん）や容器などを置いたりして着火して火災になる事故が起きています。また、電気コンロでは、リコール対象製品であるものの未改修であったために、意図せず電源が入り周囲のものに着火した事故も起きています。毎日使う調理器具の汚れや、コンロなどの周りに燃えやすいものがないかをチェックして、事故を未然に防ぎましょう。電気コンロはリコール対象製品か今一度確認しましょう。

NITE(ナイト)が収集した製品事故情報<sup>※2</sup>によると、平成23年度～平成27年度までの5年間に、ガスコンロや電子レンジなどの調理器具の事故が989件あり、このうち、器具の汚れによる事故や周囲の燃えやすいものなどに着火した事故が合計325件（ガスコンロ164件、電気コンロ86件、IHコンロ10件、電子レンジ60件、電気オーブントースター5件）ありました。これらの事故の中には、建物を全焼するなどの火災事故244件や、やけどなどによる死亡、重軽傷事故31件（死亡2件、重傷5件、軽傷24件）があり、注意が必要です。

#### ■ 主な事故事例と注意事項

- ガスコンロのバーナーキャップの炎口が煮こぼれで目詰まりした状態で、点火操作を繰り返したところ、滞留したガスに引火し女性1人が重度のやけどを負った。（平成23年5月、神奈川県）  
⇒ 煮こぼれや油こぼれが生じた場合はこまめに掃除してください。また、グリル皿やグリル庫内もこまめに掃除してください。（写真）バーナーキャップグリル内に食品かすや油脂等が付着していると、過熱されて発火するおそれがあります。
- ガスコンロで、鍋を火にかけたままその場を離れたところ、周囲の可燃物に着火して火災が発生し、1人が死亡した。（平成26年9月、栃木県）  
⇒ コンロの上や周囲に布巾（ふきん）やプラスチック容器など着火する可能性のある可燃物を置かないでください。また、調理中はコンロに火をつけたままその場を離れないでください。
- 電子レンジを使用したところ、ドア下部の隙間に付着していた食品かすが炭化してスパークが発生し、レンジ置き台の一部を焼損した。（平成26年7月、北海道）  
⇒ 電子レンジや電気オーブントースターの庫内やドアに付着している食品かすは、こまめに掃除してください。
- リコールされている電気コンロを使い続けていたところ、電気コンロの操作つまみに身体が触れて気づかずにスイッチが入り、就寝中に電気コンロの上に置いてあった新聞紙に着火して火災が発生し、消火時に手にやけどを負った。（平成23年10月、東京都）  
⇒ リコールされている電気コンロで火災事故が発生しています。リコール対象の電気コンロは使用せず製造事業者等に連絡してください。また、コンロの周囲や上には絶対に可燃物を置かないでください。



（写真）バーナーキャップグリル内に食品かすや油脂等が付着していると、過熱されて発火するおそれがあります。

(※1) こんろについて、以下に補足する。

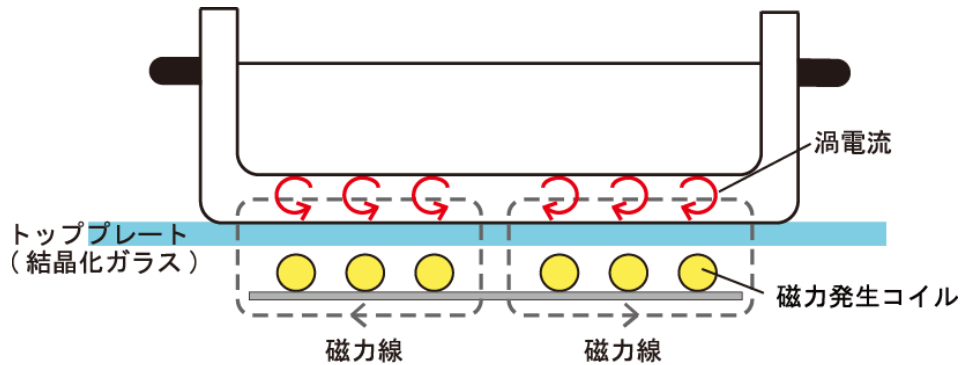
■ 電気こんろ

ニクロム線等の熱源を利用するもので、組み込み式、据え置き式及び卓上式がある。

小形キッチンユニット用の組み込み式電気こんろにおいて、電源スイッチのつまみが飛び出した構造のものはリコール改修が行われているため注意が必要。(別紙3参照)

■ IH (Induction Heating) こんろ

磁力発生コイルから発生した磁力線が金属製鍋の鍋底を通過する際、電磁誘導の原理によって渦電流が発生し、鍋底の電気抵抗によって生じたジュール熱によって鍋底自体が発熱する。



(※2) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故(ヒヤリハット情報(被害なし)を含む)。

(※3) 平成 29 年 3 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

## 1. 事故の発生状況

### (1) 年度別及び製品別 事故件数

図1-1に「製品別 年度別 事故件数」、及び図1-2に「製品別 事故件数」を示します。  
 NITEが収集した製品事故情報によると、平成23年度から平成27年度までの5年間に、ガスこんろの事故が460件、電気こんろの事故が108件、IHこんろの事故が110件、電子レンジの事故が239件、電気オーブントースターの事故が72件ありました。その中で、汚れを放置して使用した製品が発火した事故や、こんろ周辺の可燃物などに着火した事故（以下、汚れと可燃物着火による事故とする。）が合計で325件（内訳は図1-2のとおり）あります。その他の事故664件には、揚げ物などの調理中にその場を離れたり、火を消し忘れたりしたため、食材や油が発火した事故や、焼損が著しく原因が特定できなかった事故が含まれます。（詳細は別紙2を参照）

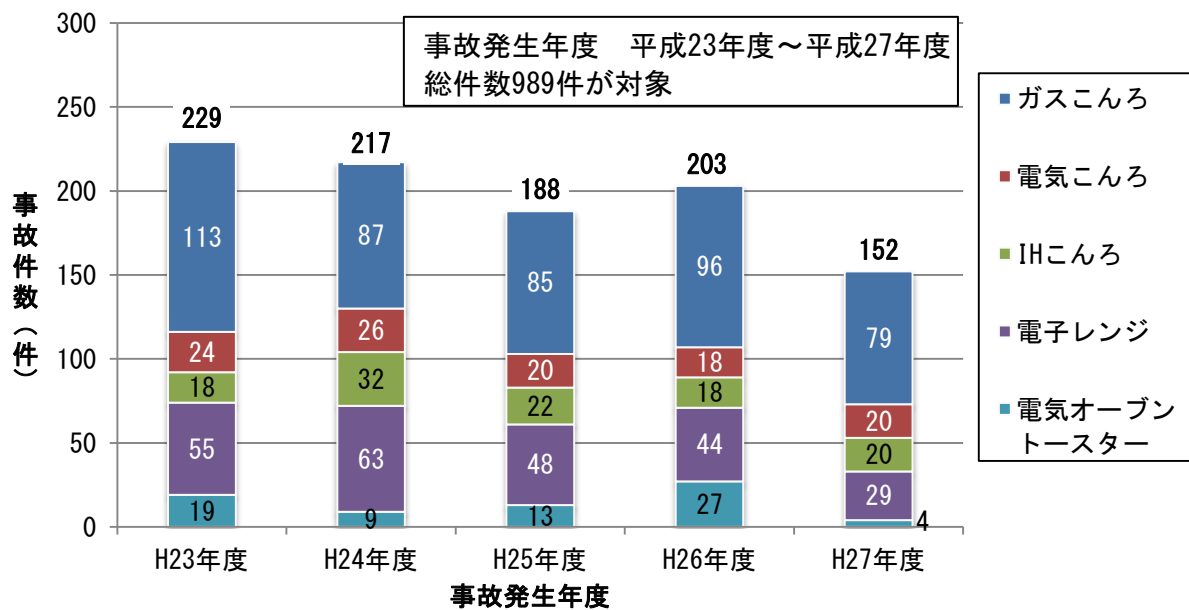


図1-1 製品別 年度別 事故件数

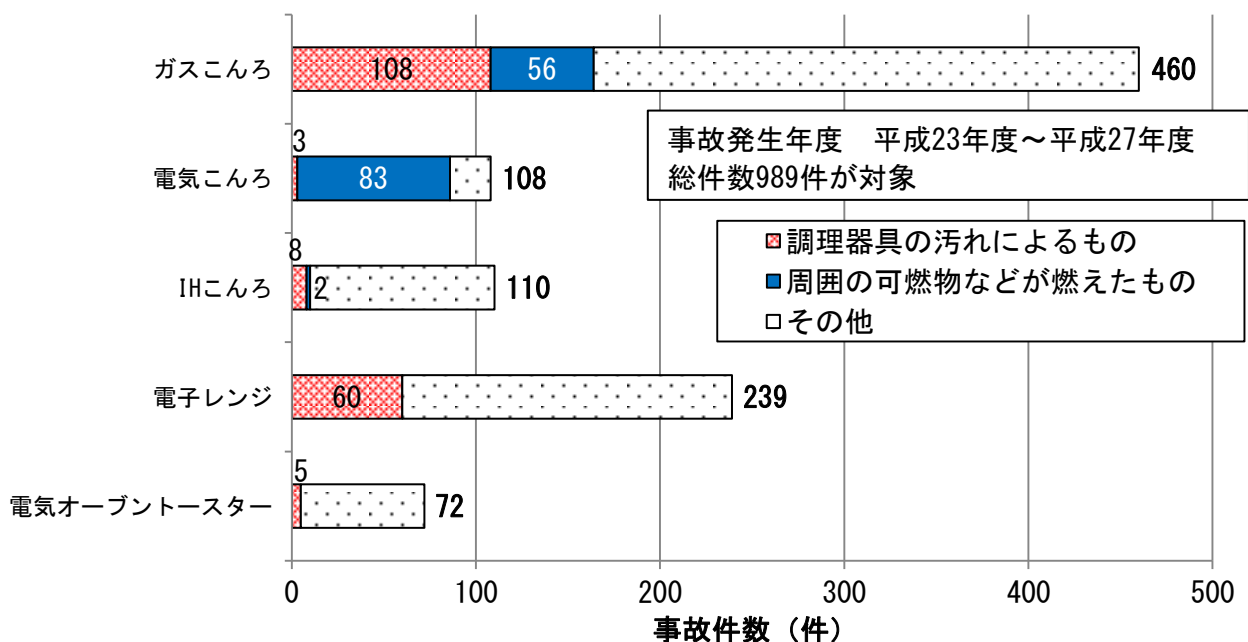


図1-2 製品別 事故件数

(2) 「汚れと可燃物着火による事故」※4について製品別 被害状況

表1に「「汚れと可燃物着火による事故」について 製品別 被害状況」を示します。

「汚れと可燃物着火による事故」325 件のうち、244 件が火災を伴っています。また、ガスこんろや電気こんろなどで死亡2件、重傷5件、軽傷24件の事故が発生しています。

表1 「汚れと可燃物着火による事故」について 製品別 被害状況※5

内訳	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
ガスこんろ		2 (3) [2]	5 (5) [4]	21 (26) [17]	83 [74]	48 [24]	5 [2]	164 (34) [123]
	グリル庫内汚れ			6 (7) [5]	32 [29]	23 [18]	5 [2]	66 (7) [54]
	煮こぼれ				5 [5]	16 [4]		21 (0) [9]
	バーナーキャップ汚れ		1 (1)	3 (3) [2]	4 [2]	8 [1]		16 (4) [5]
	その他の汚れ（天板や排気筒など）			2 (3)	3 [2]			5 (3) [2]
	周囲の可燃物に着火	2 (3) [2]	4 (4) [4]	10 (13) [10]	39 [36]	1 [1]		56 (20) [53]
電気こんろ				2 (2) [2]	79 [78]	4 [2]	1 [1]	86 (2) [83]
	煮こぼれ					3 [1]		3 (0) [1]
	周囲の可燃物に着火			2 (2) [2]	79 [78]	1 [1]	1 [1]	83 (2) [82]
	(内数1) 身体や荷物等が つまみに接触してスイッチ が入ったもの			1 (1) [1]	44 [44]	1 [1]		46 (1) [46]
(内数2) 外部からのノイズ によりスイッチが入った もの				9 [8]			9 (0) [8]	
IHこんろ					7 [5]	2 [2]	1 [1]	10 (0) [8]
	グリル庫内汚れ				5 [5]	2 [2]	1 [1]	8 (0) [8]
	周囲の可燃物に着火				2 [2]			2 (0) [0]
電子レンジ (庫内に油汚れや食品かすが堆積)				3 [3]	51 [22]	6 [1]	60 (0) [26]	
電気オーブトースター (庫内に油汚れや食品かすが堆積)			1 (1)	2 [2]	2 [2]		5 (1) [4]	
合計	事故件数 被害者数 火災件数	2 (3) [2]	5 (5) [4]	24 (29) [19]	174 [162]	107 [52]	13 [5]	325 (37) [244]

(※4) 汚れを放置して使用した製品が発火した事故や、こんろ周辺の可燃物などに着火した事故。

(※5) 平成29年3月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

### (3) 月別 製品別 事故件数

図2に「月別 製品別 事故件数」を示します。

「汚れと可燃物着火による事故」※4は1年を通して発生していますが、グラフを見ると春や秋にピークがあり、4月ごろや9月ごろから事故件数が増加しています。

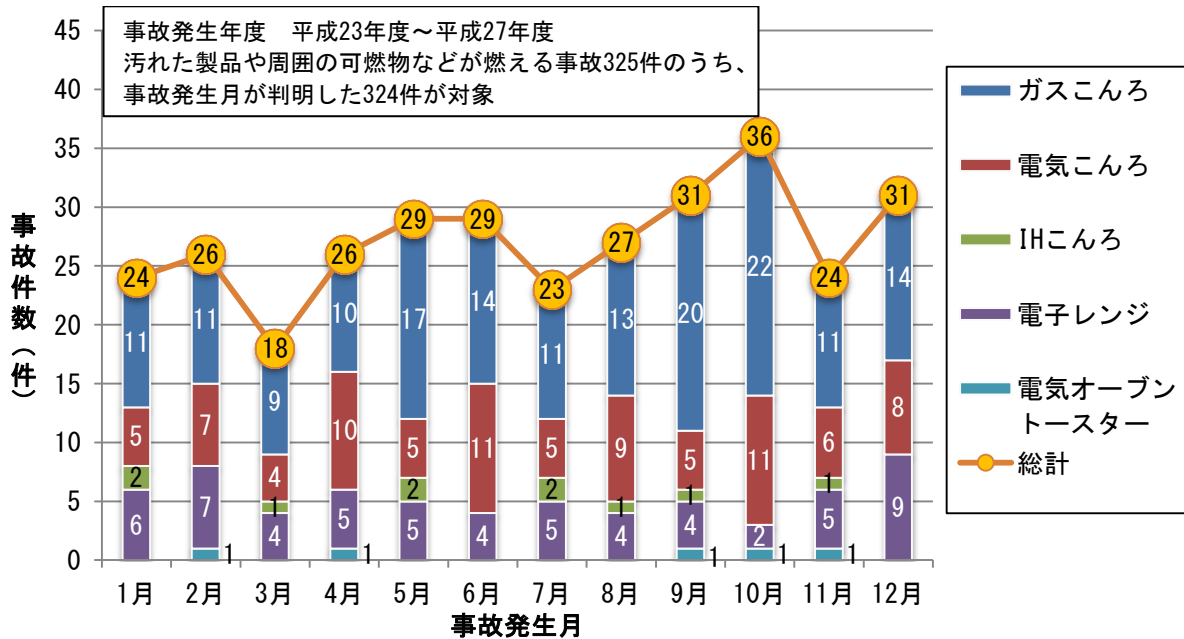


図2 「汚れと可燃物着火による事故」※4について 月別 製品別 事故件数

### (4) 使用期間別 製品別 事故件数

図3に「使用期間別 製品別 事故件数」を示します

汚れによる事故が多いガスこんろや電子レンジの事故は使用期間が1年未満から発生しており、電子レンジにおいては使用期間1年前後の発生件数が最も多くなっています。一方、可燃物着火による事故の多い電気こんろは使用期間の長い製品で事故がみられ、古い製品で事故が発生していると考えられます。

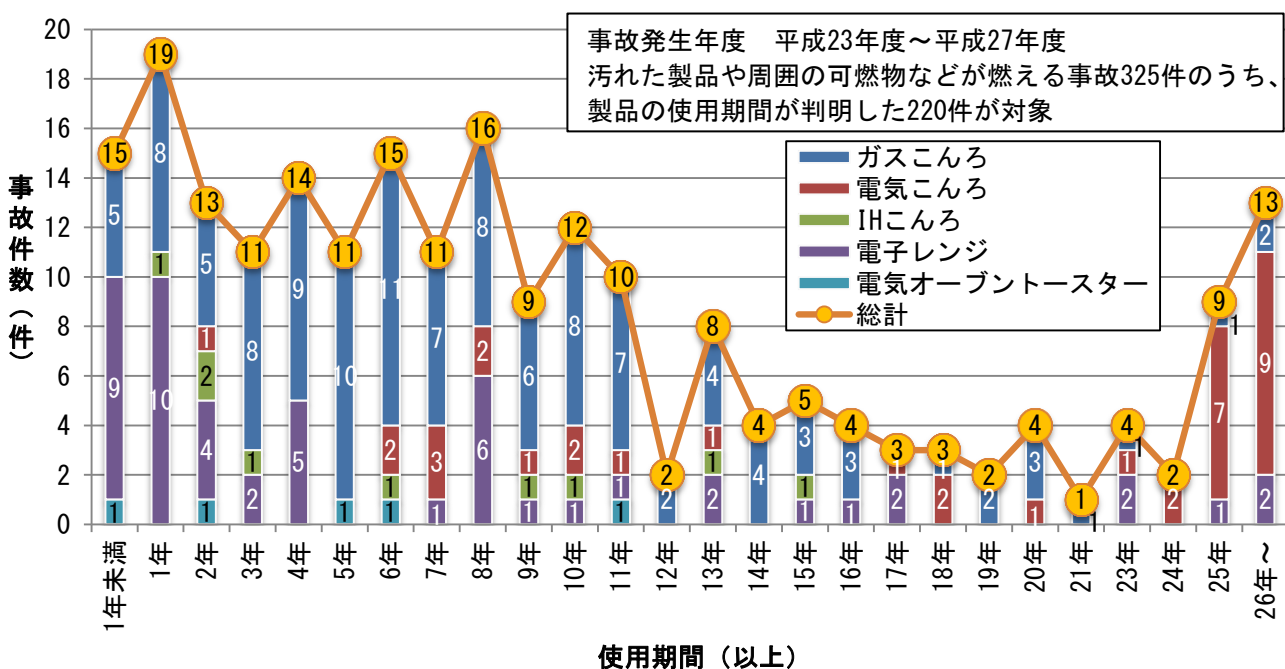


図3 「汚れと可燃物着火による事故」※4について 使用期間別 製品別 事故件数

(※4) 汚れを放置して使用した製品が発火した事故や、こんろ周辺の可燃物などに着火した事故。

## 2. 事故事例と気をつけるポイント

### ①平成 27 年 6 月 7 日（山口県、80 歳以上・女性、軽傷）

#### 【事故の内容】

ガスこんろの点火操作を行ったところ、1 人が頭部にやけどを負う火災が発生した。

#### 【事故の原因】

ガスこんろのバーナーキャップの炎口部が汚れて塞がった状態で点火操作を行ったところ火がつかず、こんろに顔を近づけて点火操作を繰り返したため、滞留したガスに引火し、頭部にやけどを負ったと考えられる。

なお、取扱説明書には、「点火操作時や使用中は、バーナー付近に触れたり、顔を近づけたりしない」、「点火しないときは、バーナー炎口が詰まっていないか確認する、目詰まりしていたら、炎口をブラシや針金などで掃除する」旨、記載されていた。



(写真)バーナーキャップの炎口が目詰まりしている様子（イメージ）

### ②平成 23 年 5 月 20 日（神奈川県、年齢不明・女性、重傷）

#### 【事故の内容】

ガスこんろの右側バーナーを点火したところ、1 人がやけどを負った。

#### 【事故の原因】

ガスこんろの本体内部や右側バーナー（強火力バーナー）には煮こぼれが付着しており、右側バーナーのバーナーキャップにも異物が付着し、炎口がふさがれ正常に点火できない状態であったため、点火時に異常燃焼し、やけどを負ったと考えられる。

なお、取扱説明書には、「点火しないときは、バーナー炎口が詰まっていないか確認する、目詰まりしていたら、炎口をブラシや針金などで掃除する」旨、記載されていた。

### ③平成 23 年 12 月 08 日（北海道、30 歳代・男性、軽傷）

#### 【事故の内容】

ガスこんろの点火操作を繰り返したところ、ガスこんろから出火し、1 人がやけどを負った。

#### 【事故の原因】

ガスこんろのバーナーは、煮こぼれが多く付着した状態で点火不良となっており、点火操作を繰り返し行ったことで未燃ガスがたまったため、再点火時のスパークがガスに引火して火災に至ったと考えられる。

なお、取扱説明書には、「再点火する時は、周囲に未燃ガスが無くなるまでしばらく待つ」旨、記載されていた。



④平成 27 年 10 月 20 日（茨城県、年齢不明・男性、軽傷）

【事故の内容】

ガスこんろのグリル庫内から火が出て、手にやけどを負った。

【事故の原因】

グリル庫内に炭化物や油脂が溜まっていたことから、グリルの受け皿に溜まった油脂等が過熱されて、発火に至ったと考えられる。

なお、取扱説明書に「グリル庫内に食品くず等がないことを確認する。グリルを使用後および連続使用の場合はグリルの受け皿に溜まった油脂等を取り除く」旨、記載されていた。

⑤平成 27 年 5 月 28 日（新潟県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

IH こんろのグリルで調理していたところ、こんろ及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

グリル庫内の手入れ不足により食品かすがたまっていた状態で使用したために、温度センサーが作動する前に庫内の食品かすに着火し、発煙・発火に至ったと考えられる。

なお、取扱説明書には「グリル使用後は必ずお手入れする。調理くずや油分が残ったまま調理すると発煙・発火の原因となる」旨、記載されていた。

## こんろの気をつけるポイント①

### ○煮こぼれや油こぼれが生じた場合はきれいに拭き取る

調理中に生じた煮こぼれや油こぼれは、きれいに拭き取ってください。

ガスこんろの場合は、煮こぼれによりバーナーキャップの炎口部がふさがれ、点火不良や異常燃焼、不完全燃焼の原因となることがあるため注意が必要です。

また、煮こぼれ等が温度センサーに付着すると、正確な温度を測ることができず、調理油過熱防止装置が正しく働かなくなるおそれがあります。

（参考）バーナー部について

注）以下の写真は構造を示すためのもので事故とは関係ありません。



バーナーキャップを取り外した後



点火プラグ (Ignition plug)



立ち消え安全装置（炎検知部） (Flame detection part)

### ○再点火するときは、周囲に未燃ガスがなくなるまでしばらく待つ

点火不良が生じた場合、点火操作を繰り返すとこんろ周辺に未燃ガスが溜まり、再点火の際に溜まったガスに引火して大きな炎が上がる場合があります。未燃ガスがなくなるまでしばらく待ってから再点火してください。

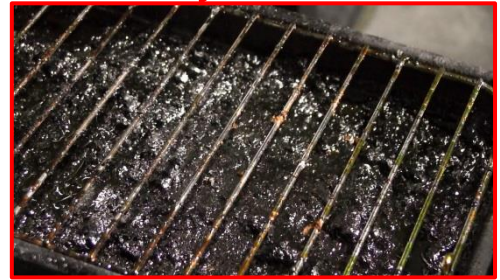
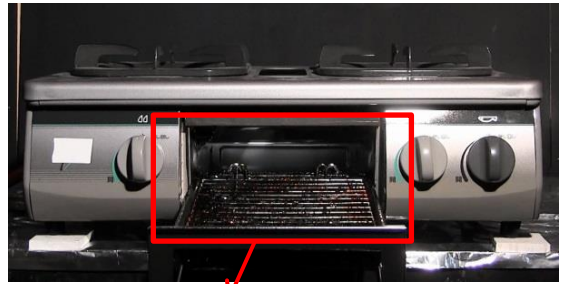
**○グリルは使用后、こまめに掃除する**

グリルを連続使用前や使用した後は、グリル受け皿や焼き網、下火カバーなどにたまった食品かすや油脂を取り除き、こまめに掃除してください。食品かすや油脂等が付着していると、過熱されて発火するおそれがあります。

また、受け皿に水を入れる必要があるグリルは、必ず水を入れて使用してください。水が無いと、受け皿にたまった油が過熱されて発火するおそれがあります。

お手入れをするときは、手袋などを使用して、けがに注意してください。

(参考) ガスコンロお手入れ動画  
一般社団法人 日本ガス石油機器工業会HP  
<http://www.jgka.or.jp/consumer/gasu-riyou/maintenance/gasukonro/cooktop/index.html>



(写真) グリル庫内にたまった汚れ (イメージ)

**○庫内で調理物が発火したときは、グリルの扉を開けない**

庫内で調理物が発火したときは、グリルのスイッチを切り、炎が消えるまで扉を開けないでください。扉を開けると空気が供給され、炎が大きくなるおそれがあります。



(写真) 魚調理中にグリル庫内に溜まった汚れが過熱されて発火する再現実験



## ⑥平成 26 年 7 月 9 日（北海道、60 歳代・女性、拡大被害）

## 【事故の原因】

電子レンジを使用中、庫内から出火し、レンジ置き台の一部を焼損した。

## 【事故の原因】

繰り返し使用している間に、ドア下部の隙間に付着した食品かすが炭化し、その状態で使用したために、マイクロ波が集中してスパークが発生し、発火したと考えられる。

なお、取扱説明書には、「庫内に付着した油や食品かすを放置したまま加熱しない。発火や発煙の原因になる」旨、記載されていた。

## ⑦平成 25 年 2 月 23 日（高知県、40 歳代・女性、軽傷）

## 【事故の内容】

オーブントースターで調理中、トースターの扉を開けたところ炎が上がり、手にやけどを負った。

## 【事故の原因】

庫内やパンくずトレイが汚れたままで使用し続けたため、調理品や食品のくずが過熱してくすぶり続け、トースターの扉を開けたときに流れ込んだ空気と反応し、発火したと考えられる。

なお、取扱説明書には、「食品のくずや油分が残ったまま調理すると、発煙・発火のおそれがあるため、使用後は手入れする」旨、記載されていた。

### 電子レンジ・オーブントースターの 気をつけるポイント

#### ○庫内をこまめに掃除する

電子レンジや電気オーブントースターの庫内はこまめに掃除を行ってください。

庫内やドアに食品かすが付着したまま使用すると、炭化してスパークが発生し発煙・発火するおそれがあります。油汚れを放置してスパークが発生し電子レンジの庫内に穴が空いて、製品内部に食品かすが堆積して発火した事例もあるため注意が必要です。



(写真) 電子レンジ庫内が汚れている様子



(写真) 電子レンジの庫内に付着した汚れが炭化して発火

#### ○庫内で発煙・発火した場合は、電源プラグを抜き、扉を開けない

庫内で発煙・発火したときは、電源プラグを抜いて、火が消えるまでドアを開けないでください。ドアを開けると空気が入り、炎が大きくなるため危険です。またドアのガラスは高温になっているため、水をかけないでください。急激にガラスの温度が下がることで体積が縮んでガラスが割れ、割れたガラスでけがをするおそれがあります。

## ⑧平成 26 年 9 月 18 日（栃木県、年齢性別不明、死亡）

## 【事故の内容】

ガスこんろで調理をしていたところ、建物を全焼する火災が発生した。

## 【事故の原因】

周囲に可燃物がある状態で、ガスこんろを使用して鍋を火にかけたままその場を離れたために、こんろの熱により周囲の可燃物に着火して、火災に至ったと考えられる。

なお、取扱説明書には、「火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない」旨、記載されていた。

## ⑨平成 23 年 10 月 6 日（東京都、年齢性別不明、軽傷）

## 【事故の内容】

就寝中、火災警報器が鳴ったため確認すると、電気こんろの上に置いてあった新聞紙が燃えており、こんろ及び周辺を焼損する火災が発生した。

## 【事故の原因】

身体等が電気こんろの操作つまみに触れてスイッチが入り、電気こんろの上に置かれていた新聞紙に着火し、火災に至ったと考えられる。

## ⑩平成 25 年 9 月 12 日（静岡県、20 歳代・男性、拡大被害）

## 【事故の内容】

電気こんろの上に置いていたカセットこんろ用のガスボンベが破裂して、壁と床の一部を焼損し、窓ガラスなどを破損した。

## 【事故の原因】

電気ノイズによる誤作動のおそれがあるリコール製品を使い続け、誤作動で電源スイッチが入ったため、トッププレートに置かれたカセットボンベが加熱されて、破裂したものと考えられる。

## こんろの気をつけるポイント②

### ○こんろの周囲や上に可燃物を置かない

こんろの上や周囲にタオルや布巾、樹脂製の調味料容器・調理道具などの可燃物やスプレー缶等を置かないでください。右の写真に示すように、炎の付近は目に見える以上に広い範囲で高温になるため、周囲の可燃物に着火するおそれがあります。

電気こんろや IH こんろの場合、炎が見えないものの、熱源や鍋などが高温となるため、周囲に可燃物を置かない注意が必要です。使っていないからといって新聞紙などをこんろの上に置かないように注意しましょう。

また、単身者用のワンルームマンションなどでは、部屋と玄関をつなぐ通路にキッチンがあることが多く、移動した際に身体や荷物がスイッチに触れて、気づかいうちに電源が入って火災になった事例も報告されています。外出時にはスイッチが「切」になっていることを確認するとともに普段からこんろの上や周囲に燃えやすいものを置かない習慣をつけましょう。



（写真）ガスこんろで加熱中の鍋を赤外線カメラで見た様子（下が赤外線カメラの画像。白い部分が高温の部分）

## ○お使いの製品がリコール対象製品が確認する

リコール対象製品による火災事故が発生しています。リコール対象製品をお持ちの場合は、すぐに使用を中止し、製造事業者にご連絡してください。

特に、単身者用のワンルームマンション等に設置されている電気こんろの中には、繰り返しリコールされているにもかかわらず未改修品での事故が発生しています。今一度確認し、リコール対象製品の場合は、集合住宅の管理者にご連絡してください。

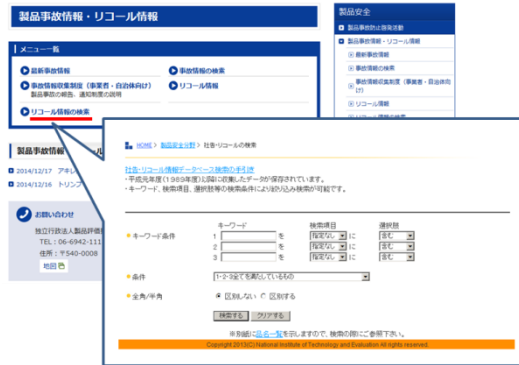
なお、平成 21 年 4 月以降に行われたガスこんろや電気こんろ、電子レンジなどの各調理器具のリコール情報について、NITE に通知されたものを別紙 4 に記載しています。

また、NITE ホームページにおいて、平成元年度（1989 年度）以降のリコール情報を検索することが可能です。

「リコール情報の検索」ページ

<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトから上記ページへ移動する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。



(参考) 電気こんろのリコール対象製品の例

○小形キッチンユニット用電気こんろ（詳細は別紙 3 を参照。）

身体等が電気こんろの操作つまみに触れてスイッチが入るおそれがあります。



## ○リコール改修中に倒産した（株）萬品電機製作所の電気こんろはすぐに使用を中止する

（株）萬品電機製作所の 1 口ハイラジエントヒーターにおいて、外部からの大きなノイズが流入した場合、「誤作動」により電源スイッチが入るおそれがあります。この事業者は既に廃業しており、リコール改修が受けられません。以下の対象製品を使用している場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、使用を中止してください。

対象となる機種・型式／製造期間

MDS-113RE / 平成 15 年 3 月～平成 20 年 1 月  
 MDS-113REB / 平成 15 年 3 月～平成 20 年 1 月  
 MDS-218RE / 平成 15 年 3 月～平成 20 年 1 月  
 MDS-218REB / 平成 15 年 3 月～平成 20 年 1 月



## お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 新井 勝己  
担当者 穴井、田代、向井

- 記者説明会当日  
電話 : 03-3481-6566 FAX : 03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降  
電話 : 06-6612-2066 FAX : 06-6612-1617



## 「汚れと可燃物着火による事故」における死亡・重傷事故の概要について

以下に参考情報として、「汚れと可燃物着火による事故」における死亡・重傷事故の被害状況の概要を示します。

No	発生日	発生場所	品名	被害状況	事故原因
①	平成 23 年 9 月 27 日	愛知県	ガスこんろ	建物全焼 年齢不明男性・重度のやけど	周囲の可燃物に着火 (事故原因区分：E)
②	平成 23 年 5 月 20 日	神奈川県	ガスこんろ	点火時にやけど 年齢不明女性・重度のやけど	バーナーキャップの汚れによる異常燃焼 (事故原因区分：F)
③	平成 24 年 2 月 14 日	東京都	ガスこんろ	建物 1 階部分全焼 年齢性別不明・2 名死亡、 2 名負傷（重軽傷不明）	周囲の可燃物に着火 (事故原因区分：F)
④	平成 25 年 5 月 8 日	静岡県	ガスこんろ	建物全焼 40 歳代男性・重度のやけど	周囲の可燃物に着火 (事故原因区分：F)
⑤	平成 25 年 5 月 3 日	神奈川県	ガスこんろ	ガスこんろ周辺を焼損 90 歳以上男性・重度のやけど	周囲の可燃物に着火 (事故原因区分：F)
⑥	平成 25 年 8 月 4 日	埼玉県	ガスこんろ	ガスこんろ周辺を焼損 年齢不明女性・重度のやけど	周囲の可燃物に着火 (事故原因区分：E)
⑦	平成 26 年 9 月 18 日	栃木県	ガスこんろ	建物全焼 年齢性別不明・1 名死亡、 1 名軽傷	周囲の可燃物に着火 (事故原因区分：E)

### (参考) 事故原因区分一覧

	区分記号	事故原因区分名称	説明
製品に起因する事故	A	設計、製造又は表示等に問題があったもの	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
	B	製品及び使い方に問題があったもの	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
	C	経年劣化によるもの	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	G3	製品起因であるが、その原因が不明のもの	製品に起因するが、その原因が不明なもの
製品に起因しない事故	D	施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
	E	誤使用や不注意によるもの	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
	F	その他製品に起因しないもの	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
原因不明	G	原因不明のもの（G3 は除く）	焼損が著しいなどによって、原因が特定できず不明なもの 事故品が入手できないなど調査が行えないもの
調査中	H	調査中のもの	調査中のもの



### 事象別 被害状況について

以下に参考情報として、各製品別の事象別の被害状況<sup>※</sup>を示します。

(ガスこんろ)

内訳	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
	汚れと可燃物着火による事故	2 ( 3 ) [ 2 ]	5 ( 5 ) [ 4 ]	21 ( 26 ) [ 17 ]	83 [ 74 ]	48 [ 24 ]	5 [ 2 ]	164 ( 34 ) [ 123 ]
	グリル庫内汚れ			6 ( 7 ) [ 5 ]	32 [ 29 ]	23 [ 18 ]	5 [ 2 ]	66 ( 7 ) [ 54 ]
	煮こぼれ				5 [ 5 ]	16 [ 4 ]		21 ( 0 ) [ 9 ]
	バーナーキャップ汚れ		1 ( 1 )	3 ( 3 ) [ 2 ]	4 [ 2 ]	8 [ 1 ]		16 ( 4 ) [ 5 ]
	その他の汚れ (天板や排気筒など)			2 ( 3 )	3 [ 2 ]			5 ( 3 ) [ 2 ]
	周囲の可燃物に着火	2 ( 3 ) [ 2 ]	4 ( 4 ) [ 4 ]	10 ( 13 ) [ 10 ]	39 [ 36 ]	1 [ 1 ]		56 ( 20 ) [ 53 ]
	調理中にその場を離れたり、火を消し忘れていたりしたため、食材が発火	3 ( 5 ) [ 3 ]	2 ( 2 ) [ 2 ]	14 ( 19 ) [ 14 ]	58 [ 58 ]	3 [ 2 ]		80 ( 26 ) [ 79 ]
	(内数) 天ぷらなどの揚げ物調理中にその場を離れたもの	2 ( 3 ) [ 2 ]	2 ( 2 ) [ 2 ]	10 ( 15 ) [ 10 ]	45 [ 45 ]			59 ( 20 ) [ 59 ]
	ガス接続部や機器内部からガスが漏れて、漏れたガスに引火			4 ( 4 ) [ 3 ]	7 [ 2 ]	10 [ 2 ]		21 ( 4 ) [ 7 ]
	こんろの炎が着衣に接触して発火	1 ( 1 ) [ 1 ]	4 ( 4 ) [ 2 ]	3 ( 4 ) [ 3 ]	1			9 ( 9 ) [ 6 ]
	その他 (製品に起因する事故、原因不明のもの、調査中のものを含む)	11 ( 11 ) [ 11 ]	9 ( 9 ) [ 5 ]	49 ( 59 ) [ 20 ]	55 [ 52 ]	57 [ 14 ]	5	186 ( 79 ) [ 102 ]
合計	事故件数	17	20	91	204	118	10	460
	被害者数	( 20 )	( 20 )	( 112 )				( 152 )
	火災件数	[ 17 ]	[ 13 ]	[ 57 ]	[ 186 ]	[ 42 ]	[ 2 ]	[ 317 ]

(※) 平成 29 年 3 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。[ ] は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害 (製品破損) に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(電気こんろ)

内訳	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
	汚れと可燃物着火による事故			2 ( 2 ) [ 2 ]	79 [ 78 ]	4 [ 2 ]	1 [ 1 ]	86 ( 2 ) [ 83 ]
	煮こぼれ					3 [ 1 ]		3 ( 0 ) [ 1 ]
	周囲の可燃物に着火			2 ( 2 ) [ 2 ]	79 [ 78 ]	1 [ 1 ]	1 [ 1 ]	83 ( 2 ) [ 82 ]
	(内数1) 身体や荷物等 がつまみに接触してス イッチが入ったもの			1 ( 1 ) [ 1 ]	44 [ 44 ]	1 [ 1 ]		46 ( 1 ) [ 46 ]
	(内数2) 外部からのノ イズによりスイッチが 入ったもの				9 [ 8 ]			9 ( 0 ) [ 8 ]
	調理中にその場を離れたり、 火を消し忘れてきたため、 食材が発火			1 ( 2 ) [ 1 ]	5 [ 5 ]		2 [ 2 ]	8 ( 2 ) [ 8 ]
	(内数) 天ぷらなどの 揚げ物調理中にその場 を離れたもの			1 ( 2 ) [ 1 ]	4 [ 4 ]		2 [ 2 ]	7 ( 2 ) [ 7 ]
	その他 (製品に起因する事 故、原因不明のもの、調査中 のものを含む)			1 ( 2 ) [ 1 ]	5 [ 5 ]	6 [ 1 ]	2 [ 1 ]	14 ( 2 ) [ 8 ]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	0 ( 0 ) [ 0 ]	0 ( 0 ) [ 0 ]	4 ( 6 ) [ 4 ]	89 [ 88 ]	10 [ 3 ]	5 [ 4 ]	108 ( 6 ) [ 99 ]

(※) 平成 29 年 3 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。[ ] は火災件数。  
人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害 (製品破損) に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(IH こんろ)

内訳	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
汚れと可燃物着火による事故		0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	7 (0) [5]	2 (0) [2]	1 (0) [1]	10 (0) [8]
	グリル庫内汚れ				5 [5]	2 [2]	1 [1]	8 (0) [8]
	周囲の可燃物に着火				2			2 (0) [0]
	調理中にその場を離れたり、火を消し忘れてたりしたため、油が過熱されて発火			3 (3) [3]	13 [13]	2 [1]	4 [2]	22 (3) [19]
	トップレートがひび割れて煮こぼれ等の液体が内部に浸入し、ショートやトラッキング				2 [1]	7 [7]		9 (0) [8]
	水や味噌汁などを加熱中に突沸現象が発生してやけどを負った		1 (1)					1 (1) [0]
	その他（製品に起因する事故、原因不明のもの、調査中のものを含む）			5 (5) [3]	22 [18]	36 [23]	5 [2]	68 (5) [46]
合計	事故件数 被害者数 火災件数	0 (0) [0]	1 (1) [0]	8 (8) [6]	44 [37]	47 [33]	10 [5]	110 (9) [81]

(※) 平成 29 年 3 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( ) は被害者数。[ ] は火災件数。  
 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## (電子レンジ)

被害状況		人的被害			物的被害		被 害 じ	合 計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
内訳								
	汚れと可燃物着火による事故 (庫内に油汚れや食品かすが 堆積)				3 [ 3 ]	51 [ 22 ]	6 [ 1 ]	60 ( 0 ) [ 26 ]
	少量の食品を過加熱して発火			1 ( 2 ) [ 1 ]	1	6 [ 2 ]	7 [ 2 ]	15 ( 2 ) [ 5 ]
	水や味噌汁などを加熱中に突 沸現象が発生してやけどを 負った		1 ( 1 )	4 ( 4 )		1		6 ( 5 ) [ 0 ]
	調理外(物置や靴の乾燥な ど)の目的に使用して内容物 が発火				1 [ 1 ]	1 [ 1 ]		2 ( 0 ) [ 2 ]
	その他(製品に起因する事 故、原因不明のもの、調査中 のものを含む)	1 ( 1 ) [ 1 ]	2 ( 2 )	5 ( 6 ) [ 2 ]	50 [ 42 ]	93 [ 60 ]	5	156 ( 9 ) [ 105 ]
合 計	事故件数 被害者数 火災件数	1 ( 1 ) [ 1 ]	3 ( 3 ) [ 0 ]	10 ( 12 ) [ 3 ]	55 [ 46 ]	152 [ 85 ]	18 [ 3 ]	239 ( 16 ) [ 138 ]

## (電気オーブントースター)

被害状況		人的被害			物的被害		被 害 じ	合 計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損		
内訳								
	汚れと可燃物着火による事故 (庫内に油汚れや食品かすが 堆積)			1 ( 1 )	2 [ 2 ]	2 [ 2 ]		5 ( 1 ) [ 4 ]
	食品を過加熱して発火				1 [ 1 ]	2	1	4 ( 0 ) [ 1 ]
	その他(製品に起因する事 故、原因不明のもの、調査中 のものを含む)	2 ( 2 ) [ 2 ]	2 ( 2 ) [ 1 ]	2 ( 3 ) [ 1 ]	16 [ 11 ]	39 [ 6 ]	2	63 ( 7 ) [ 21 ]
合 計	事故件数 被害者数 火災件数	2 ( 2 ) [ 2 ]	2 ( 2 ) [ 1 ]	3 ( 4 ) [ 1 ]	19 ( 0 ) [ 14 ]	43 ( 0 ) [ 8 ]	3 ( 0 ) [ 0 ]	72 ( 8 ) [ 26 ]

(※) 平成29年3月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。( )は被害者数。[ ]は火災件数。

人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

## 小形キッチンユニット用電気こんろのリコール改修が行われています

昭和 52 年（1977 年）から昭和 63 年（1988 年）まで（一部の製造事業者は平成 16 年（2004 年）まで）に製造された組み込み式の電気こんろ（電源スイッチのつまみが飛び出した構造のもの）において、身体や荷物がスイッチに触れて電源が入ってしまう事故が多発したため、昭和 64 年（1989 年）以降、チラシやポスター、新聞広告等による注意喚起やスイッチ操作部のリコール改修が行われています。

しかし、現在でも未改修品による事故が報告されており、特に組み込み式の電気こんろが設置されていることの多い単身者向けワンルームマンション等において、事故が多く発生しています。

未改修の電気こんろをお持ちの場合は、使用を中止して製造事業者または小形キッチンユニット用電気こんろ協議会に相談してください。



(写真) 電気こんろが通電して周囲の可燃物に着火した様子



(図) 対象となる電気こんろの形状及び改修済製品のつまみ部

### 1. 製品別出荷台数及び名簿把握率、改修率

組み込み式の電気こんろの出荷台数、名簿把握率及び改修率について、表に示します。

表 製品別出荷台数及び名簿把握率、改修率\*

	出荷台数	名簿把握率 (%)			改修率 (%)		
		2007年 6/30時点	2017年 2/28時点	2017年 3/31時点	2007年 6/30時点	2017年 2/28時点	2017年 3/31時点
前部操作式一口電気こんろ	530,401	70.9%	97.0%	97.0%	62.2%	96.5%	96.5%
		2007年 7/31時点	2017年 2/28時点	2017年 3/31時点	2007年 7/31時点	2017年 2/28時点	2017年 3/31時点
前部操作式複数口電気こんろ	147,700	0.3%	70.9%	70.9%	0.0%	70.0%	70.0%
上面操作式一口電気こんろ	60,969	8.4%	77.8%	77.9%	5.3%	74.5%	74.5%

(※) 出典：小形キッチンユニット用電気こんろ協議会

### 2. 未改修品を見つけたら

未改修の電気こんろをお持ちの場合は、製造事業者または小形キッチンユニット用電気こんろ協議会 (<http://www.denki-konro.jp/>) に相談し、改修を受けてください。



&S%#S(#&S			<p>O Q</p> <p>O Q</p> <p>- SS % SS fl        \hhd; ##kkk" dU caU W" ^d#  adcfhUbh#  bZcSfYdU f ##&amp;S% #&amp;S% S(" \ha`</p>
&S%#S+#%)			<p>O Q</p> <p>D&amp; - SSKF! *S7? D&amp; - SSKF! +) 7? D&amp; - SSKJ! *S7J D&amp; - SSKJ! +) 7J        D&amp; - SSKJ! *S, J D&amp; - SSKJ! +); J</p> <p>H&amp; - SSKJ* S7 H&amp; - SSKJ+) 7</p> <p>O Q</p> <p>S%&amp;S' %(!)) &amp;        - . SS % . SS'        \hhd. ##kkk" dU caU W" ^d#  adcfhUbh#  bZcSfYdU f ##&amp;S% #&amp;S% S+" \ha`</p>
&S%#%&#&(			<p>...</p> <p>S- SS %- SS        \hhd. ##kkk" hkl bM fX" ^d#XcW#cg  fUgY#&amp;S% %&amp;&amp;#</p>
&S%#S#&&			<p>M&amp;S9B</p> <p>S- SS %- 'S        \hhd. ##kkk" nUaUyb" W" ^d#^UdUbyY#Vg  #ei U   hns' #  adcfhUbh#   gh#bcXS%SS++</p>
&S%#S#%\$			<p>%\$ SS %- SS        \hhd. ##kkk" UYcb'   bZc#bYkg#  adcfhUbh#dXZ#% S%&amp;FS(" dXZ</p>
&S%#S#S)			<p>! ! ! !        ! !        ! !</p> <p>S- SS %- SS        \hhd. ## UxYbZLb' \   hUW  " W" ^d# \ h#  bXl " \ ha`</p>
&S%&#S&#S+			<p>S- SS %- SS        \hhd. ##kkk" hkl bM fX" ^d#XcW#cg  fUgY#&amp;S% &amp;S&amp;S+#</p>
&S%#S#%#	<	fl L	<p>&lt;</p> <p>S- SS %- SS</p> <p>D:G</p> <p>\hhd. ##kkk" hYgWa! ^UdUb" W" ^d#  bZc#&amp;S%#S' #0%\$ % ! *S(" \ha`        \hhd. ##kkk" Y  hU  ! gU  n" W" ^d#</p>



